

平成 30 年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第 2 四半期 (H30 年 7~9 月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町	売上額	☔	☀	☔	☔	☘	☔	☘	☘	☔
	仕入単価	☔	☘	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
	採 算	☔	☀	☔	☔	☔	☔	☔	☀	☔
内	資金繰り	☔	☀	☔	☔	☘	☔	☔	☀	☔
	業界の業況	☔	☀	☘	☔	☘	☔	☘	☔	☔
北 信		↘ 悪化		↗ 改善	→ 不変		↗ 改善	↘ 悪化		↘ 悪化
県 内		緩やかに回復している。								
全 国※		-21.1 ↘	-2.7 ↗		-39.1 ↘		-29.0 ↗	-26.1 ↘	-10.9 ↗	

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

国道 18 号線の拡幅工事の影響で深沢商店街地区の店舗が軒並み悪化した。渋滞の慢性化、工期の遅延等、不安要素が多い。(町内の飲食店・小売業者等複数回答あり)

エネルギー業界全体が厳しいと思われる。(町内の燃料小売業者より)

《北信》

全業種の売上高は横ばい。

卸小売業は小売が増加、卸売り減少している。

製造業の生産高は増加するも売上高は減少傾向。

運輸業は人手不足による機会損失が多発している。

建設業の施工高が増加し全体も増加傾向。

《県内》

有効求人倍率が 48 ヶ月連続で全国平均を上回る。6月の地区有効求人倍率は北信が前月+0.08、東信で+0.29、中信で+0.17、南信で+0.02と13ヶ月連続で4地区全て前年を上回った。

人手不足による機械損失が慢性化している状況が景気回復を阻害している。

《全国》

全国の景況は前回同様に「緩やかに回復している。」としている。

産業全体：災害や猛暑に影響を受けるも、わずかに改善した。

製 造 業：猛暑に伴う需要が高まるも、内部・外部環境による影響が影を落とした。

建 設 業：西日本豪雨に伴う復旧工事増に繁忙を極めるも、燃料高・資材高の影響を受けた。

小 売 業：連日続く猛暑により一部商材が好調であるも、業界全体の押し上げにはつながらない。

サービス業：猛暑で改善する業種がある一方で、人の入りへの影響が出ている。

参考資料：

(地域の経済動向調査に関すること【指針③】)

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」

長野経済研究所「経済月報」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」

全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」